

レジリエント部門

水害・土砂災害ハザードマップを活用した 防災マイマップ作り

大阪府高槻市

自助・共助の取組を更に促進させるため、内水氾濫と外水氾濫、土砂災害を一冊にまとめたハザードマップを作成し、平成29年度（上半期）に全戸配布。ハザードマップを活用していただくために様々な工夫を凝らしました！！



■ポイント1 災害をわかりやすく解説

災害の種別や発生の仕組みをわかりやすく解説し、誰もが使いやすくなる工夫



■ポイント3 シールを使って、マイマップ作成

付属シールを使って、自分専用のマイマップを作成できる工夫



マイマップ作りの様子



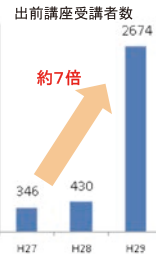
■ポイント2 自宅の災害リスクが一目瞭然

内水氾濫と外水氾濫を見開きページに配置することで、自宅の災害リスクが一目瞭然に



■ポイント4 出前講座の依頼が急増

学校や地域で行っている出前講座が好評で、受講者数が急増中



PRポイント!

新たな「高槻市水害・土砂災害ハザードマップ」では、災害の種別や仕組みを分かりやすく解説し、**内水氾濫と外水氾濫の災害リスクを見開きに配置**するなど、誰もが理解しやすい内容としました。また、**付属の専用シールを使うことで、オリジナルのマイマップ**が作成できるよう工夫を凝らしています。

取組の効果!

出前講座後、ハザードマップを活用してのマイマップ作りに取り組んだ学校や地域も多数あり、子どもの頃から防災を考えるきっかけ作りや市民の皆様の防災意識の高揚が図れ、ひいては**地域の防災力向上**につながりました。

Key Person



高槻市 都市創造部
下水河川企画課 澤田 和孝

受賞内定を市長に報告した際、「大阪北部地震や7月豪雨で大変な経験をしただけにレジリエント部門での国交大臣賞は、本市にとって本当にありがたく、大変嬉しいこと」との言葉をいただき、関わった全職員が喜びを分かち合いました。

作るのが目的ではなく、自分の物として活用していただく「マイマップ」を目指し、様々な主体が参加する検討委員会で熱い議論を交わしながら作成しましたが、全戸配布後の手応えもよく、見やすく、分かりやすい等のコメントを多くいただきました。今後もマップを活用し「自分の命は自分で守る、自らの避難行動」につながるよう全力で取り組みます。